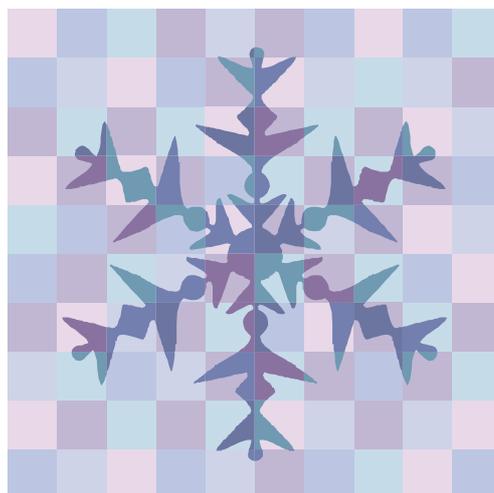


日本リハビリテーションネットワーク研究会

第6回学術集会 プログラム

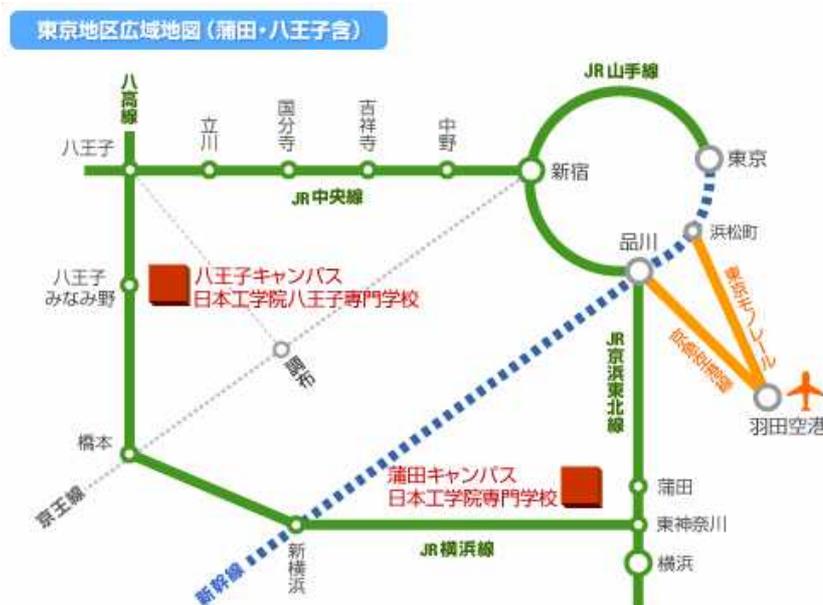


日時：2006年12月3日（日）

11:00～16:40

場所：日本工学院専門学校蒲田キャンパス

日本工学院専門学校・蒲田キャンパス 交通案内図



<最寄り駅> JR 京浜東北線、東急池上線、東急多摩川線「蒲田駅」西口
より徒歩 3 分



<会 場> 蒲田キャンパス 3号館・1階マルチメディアホール

<住 所> 〒144 -8655 東京都大田区西蒲田 5 -23 -22

<電話番号> 03 -3732 -1111 (代)

<参加者へのお知らせとお願い>

・参加費について

1. 会 員 1,000 円
2. 非会員 2,000 円

・参加受付について

1. 参加受付は 10 時 30 分から、日本工学院専門学校・蒲田キャンパス 3 号館・1 階マルチメディアホール入口前にて行います
2. 参加申込書に氏名、所属等を記入して、参加費を納入して下さい

・会場での注意事項

1. 会場内での呼び出しはいたしません。あらかじめご了承下さい
2. 会場内への飲食物のお持ち込みはご遠慮願います
3. 会場内は禁煙となっております。喫煙は会場外の所定の場所をお願い致します

・その他

1. 昼食は、会場周辺の飲食店をご利用下さい

<演者へのお知らせとお願い>

1. 演題はすべて PC プレゼンテーションにて口述で行って頂きます。スライド、ビデオ等での発表は出来ません
2. 受付にて「演者受付」を行います。発表予定時間の 20 分前までに受付をすませて下さい。
(また座長も 20 分前までにお越し下さい)
3. 発表予定 10 分前までには「次演者席」にお着き下さい。
4. 一般演題の発表時間は 7 分、質疑応答は 3 分です。対応アプリケーションは、Windows 版 Power Point です。操作は演台にて演者ご自身で行って下さい。発表時間終了 1 分前に「1 鈴」、終了時に「2 鈴」が鳴ります。
5. 使用パソコン (Windows) は研究集会主催者側で準備致します

<学術集会についてのお問い合わせ先>

日本リハビリテーションセンターネットワーク研究会事務局

〒108-8329 東京都港区三田 1-4-3

国際医療福祉大学附属三田病院 リハビリテーション室内

TEL : 03-3451-8121 (代) & FAX : 03-3454-0067 (総務課)

E-mail : rehabnet2006@yahoo.co.jp (臨時)

プログラム

特別講演 (11:00 ~ 11:50)

司会 木村哲彦 国際医療福祉大学大学院教授

「地域連携クリティカルパス」

国際医療福祉大学国際医療福祉総合研究所長・同大学附属三田病院副院長・同大学大学院教授
武藤正樹

シンポジウム (13:00 ~ 15:00)

テーマ：『診療報酬改定・介護保険改正に伴う課題と対策』

座長・コーディネーター

皆川晃慶 徳洲会グループリハビリテーション指導部長

草野修輔 国際医療福祉大学附属三田病院リハビリテーション科教授

<シンポジスト>

1) 急性期病院における課題と対策

聖マリア病院リハビリテーションセンター長 井出 睦 (Dr)

2) 回復期リハ病棟における課題と対策

茨城県立医療大学附属病院リハビリテーション科講師 大仲功一 (Dr)

3) 維持期リハにおける課題と対策

霞ヶ関南病院リハビリテーション部長 岡持利亘 (PT)

4) 地域リハビリテーション広域支援センター活動における課題と対策

高知大学医学部附属病院リハビリテーション部助教授 石田健司 (Dr)

<休憩>

一般演題 (15:15 ~ 16:40)

[15:15 ~ 15:35]

座長 国立身体障害者リハビリテーションセンター病院・第一機能回復訓練部長 佐久間 肇

1. ペースメーカー植込み患者に対する脳卒中リハビリテーション...病診連携を介した評価と対策...
村松 光 春日居リハビリテーション病院・循環器内科 (Dr)
2. 急性期被殻出血例の坐位能力 - ステップワイズ回帰分析を用いた初期情報からの予後予測 -
高倉保幸 埼玉医科大学総合医療センター (PT)

[15:35 ~ 15:55]

座長 筑波学院大学情報コミュニケーション学部情報メディア学科教授 浜田利満

3. リハビリテーション・ロボティクス
大塚紀之 埼玉工業大学(学生)
4. ペット型ロボットを用いたロボット介在リハビリテーションの試み
鉄井俊宏 帝京科学大学(学生)

[16:00 ~ 16:20]

座長 埼玉医科大学総合医療センター・リハビリテーション科助教授 山本 満

5. 多職種サービス連携により在宅生活活性化が図られた重度失語症を有する若年脳卒中男性の一事例
吉田致里 かしま訪問看護ステーション(OT)
6. 介護保険改正に伴う介護予防筋力トレーニングモデル事業の報告
館 なつみ クリニックかしま(PT)

[16:20 ~ 16:40]

座長 NPO 法人日本リハビリテーション看護学会理事長 落合芙美子

7. 高位頸髄損傷者の主介護者がはじめて排便介助方法を獲得していく中で抱く気持ちの変化と看護師のかかわり
白井まゆみ 国立身体障害者リハビリテーションセンター病院(看護師)
8. 介護予防パンフレットを作成して
川村成子 東京都リハビリテーション病院(看護師)